

【礼拝賛美】主はぶどうの木

(※↓★↓※の順)

※主はぶどうの木 わたしは枝です  
いつも離れずに  
主はぶどうの木 わたしは枝です  
豊かな実を結ぶ

★みことばにとどまり愛に生きるなら

この世は知るでしょう

主の救いと いやし

【蒲田シオン教会】「コロナ対応について」  
これまでには歌うときにはマスクの着用  
をお願いしておりましたが、4月からは  
歌うときにもマスクを外していただい  
ても良いことにします。  
今後とも礼拝・集会における換気は実施  
致します。

【能登大地震の被災地】

石川県の諸教会によって結成された「能登ヘルプ」よりニュースレターが届き、復興支援の様子が伝えられています。内容を要約してお知らせします。

元日の地震発生から数日の間に、九ヶ災（九州キリスト災害支援センター）など支援団体からモノと人が集まり始めました。石川県の諸教会も災害支援についての協力体制を築き、1月10日に「能登地震キリスト災害支援会」通称「能登ヘルプ」発足。諸教会、キリスト教諸団体の支援の受け入れを担うと共に、能登各地の市町村との連携も進みました。現在は、全国各地からの牧師信徒のボランティアの受付と、各被災地のニーズに応じて支援活動を行っています。

《祈禱課題》

\*被災者の皆様の上に、神様の慰めと平安が豊かにありますように。

\*能登ヘルプが被災地の方々にキリストの愛の心をもって真心から接し、仕えることができますように。

\*被災地で活動している全ての方の健康が守られますように。

\*能登ヘルプの世話人、スタッフ等が主の御心にそった働きができるように。

※5月頃に萩野牧師と林伝道師が現地にボランティアと視察に行く予定です。

No.2 2024・4・14

「やめよ。知れ。わたしこそ神。

わたしは国々の間であがめられ 地の上であがめられる。」(新改訳2017)  
「汝ら 静まりて 我の神たるを知れ」(文語訳)

詩篇 46篇10節

詩篇46篇の背後にある出来事は、イザヤ書36、37章に記されるアッシリアのエルサレム侵攻です。

当時の超大国アッシリアに包囲されたエルサレムは滅亡寸前。城内は打つ手なく狼狽するばかり。アッシリア軍は城外からエルサレムの人々に聞こえるように脅し文句を並べます。これに対してエルサレムの高官は懇願します。エルサレムの住民が聞いているからユダの言葉では話さないでくれと。民の動揺を誘うアッシリアとしては馬鹿げた願いです。当然聞き入れられるはずもなく、ますます激しい言葉で揺さぶります。

この状況にヒゼキヤ王も為す術はありません。彼はひたすらにイスラエルの神に頼り、祈ります。

そこに神は預言者イザヤを遣わしてアッシリアを退けることを約束します。そして結果はその通りになりエルサレムは絶体絶命の危機を脱します。

神の前にひれ伏したヒゼキヤ王はどんな人物でしょうか。彼は良き王でしたが、立派な人物であったと、手放しでは言いがたい一面があります。彼は息子たちがやがてバビロンに囚われると預言されたとき、自分が生きている間にそのことが起きないと

知って安堵します(イザヤ書39章)。自らの保身を大事とした姿勢で、リーダーとしては残念な反応です。ヒゼキヤ王は決して英雄ではなく、器が小さい小心者でした。

そんな彼がアッシリアの危機から救い出されたのはなぜでしょう。逆に、アッシリアが退けられた理由はなんでしょうか？それは、神を畏れたか、神を侮ったか、その一点に尽きます。

神は、(自身を畏れる人を尊びます。その人を守り、支え、危機や恐怖から救います。その人が立派であるか、何事をなしたかではありません。神の前に遜って助けを求める人が、立派な信仰者です。信仰の最優先は、業績を上げることではなく、自分の弱さもさらけ出し神の前にひれ伏すことです。その人に神の恵みと助けは注がれます。神の前に静まりましょう。(泰)

4月14日 聖日礼拝  
 第1礼拝 9時 中西け兄 萩野し兄  
 第2礼拝 11時 萩野牧師 榎原 姉  
 前奏  
 招詞 イザヤ書43章19節  
 会衆賛美 聖歌134  
 会衆賛美 主はぶどうの木  
 主の祈り 詩篇121篇1〜8節  
 交誼 詩篇107篇1〜8節  
 (旧約聖書 1070頁)  
 礼拝祈禱  
 使徒信条  
 聖書朗読 詩篇46篇1〜11節  
 (旧約聖書 980頁)  
 説教 主の前に静まる 萩野泰弘牧師  
 聖餐 (第2礼拝)  
 会衆賛美 聖歌158  
 献金  
 頌栄 聖歌376  
 祝祷  
 報告  
 感謝祈禱 奏楽  
 ※第1礼拝は、礼拝後に聖餐式

【招詞(主の招きのことば)】  
 イザヤ書43章19節「見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」アーメン

【本日の予定】  
 ■会堂清掃 礼拝終了後  
 ■小学科ホザナ礼拝 3階 11時〜  
 お

■バイブルカフェ  
 談話室 12時半〜  
 ■各会例会  
 ダニエル会 5階  
 ミモザ会 3階  
 オリーブ会 4階牧師室  
 青年会 6階



【本日の礼拝奉仕者】  
 ■第1礼拝  
 礼拝祈禱 萩野牧師  
 聖書朗読  
 献金1階  
 献金祈禱 司会者  
 報告 萩野牧師  
 受付  
 配信 配信チーム

■第2礼拝  
 礼拝祈禱  
 聖書朗読  
 献金1階  
 献金2階  
 献金祈禱 司会者  
 報告 萩野牧師  
 会場 萩野牧師  
 受付

【来週の礼拝説教】  
 説教者 田中師  
 聖書箇所 ローマ人への手紙  
 8章31〜39節

【新年度スタート】

先週は新年度最初の礼拝ということで新しい人の出入りも多くありました。感謝します。先週の様子を少し紹介です。

\*バイブルカフェ  
 継続来会の方、初めて蒲田シオンに  
 来られた方など複数の出席者がありました。

バイブルカフェは初めて教会を訪ねてこられた方への窓口となる場所です。担当者がローテーションを組んで学びを導くなど対応しています。今年度も新来者の方が気兼ねなく参加できる場として機能するようにお祈りください。

■一人がひとりを

創立者 岸田愛治牧師は「一人がひとりを」と掲げて兄弟姉妹が福音宣教に務めることを励ましました。

筆者(萩野)は神学生のとときに、インマヌエル創立者 薦田二雄牧師のご長男、薦田眞實牧師から「一人の魂を追いかけなさい。そうすれば霊的に大切なことが分かってくる」と教えていただきました。

シオン創立90周年の今年、私たちはイベントで記念の年を祝うのではなく、創立者と先輩の聖徒たちが宿していたスピリットに目を向け、私たちも福音に生き、主の証し人となることを問い直しましょう。

「一人がひとりを」  
 …あなたにとっての「ひとり」は誰ですか？

【報告 消息】

・季節の変わり目で、日によって寒暖差もあります。兄弟姉妹や関わる方に体調を崩す方が多く見受けられます。また、重い病で闘病しておられる方も少なくありません。

お互いの健康の守りのために、そして兄弟姉妹が礼拝出席に励むことができるように祈りましょう。

・4月も前半を終えました。この半月には各地で入学式、入社式が行われ、教会の若い兄弟姉妹も新しい環境での学びや仕事が始まっています。環境が変わった兄弟姉妹や関わる方々のために祈りましょう。

【復活節を歩む】

教会暦としては、イースターを越えてペンテコステ(聖霊降臨日)に向かいます。この期間は「復活節」です。悲しみや痛みを沈んでいた弟子たちが復活の主に出会い回復された出来事に思いを馳せ、私たちもその恵みに生かされていることを想い起し、復活の主の力強さを味わいましょう。